

## やさしい社会を明石から

泉 房穂さん（明石市長）

えにしを結ぶ会 第2部『つつみ込む社会へ・I』  
平成30年4月21日（土）

## やさしい社会を明石から

明石市長 いづみ 泉 ふさほ 房穂



- ・1963年 明石生まれ
- ・弁護士・社会福祉士
- ・元衆議院議員（超党派での議員立法制定に奔走）
- ・元NHKディレクター
- ・2011年より明石市長（現在2期目）
- ・柔道3段、手話検定2級、明石タコ検定初代達人

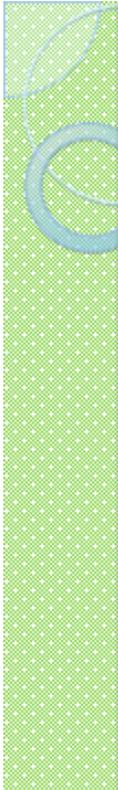
1

## 今、明石が熱い！

### 5つのV字回復

- 1 **来る人も** ⇒ 交流人口4割増
- 2 **住む人も** ⇒ 定住人口5年連続増
- 3 **赤ちゃんも** ⇒ 出生数3年連続増
- 4 **税収も** ⇒ 市税収入6年連続増
- 5 **まちの笑顔も** ⇒ 地域経済の活性化

2



## こども支援

### <4つのポイント>

- 1 **すべての子どもたちを**  
誰一人として見捨てない ⇨ × 貧困家庭限定
- 2 **まちのみんなで**  
行政や地域や市民みんな ⇨ × 親だけに責任
- 3 **一人ひとりに寄り添って**  
こども目線 ⇨ × 行政目線や親目線
- 4 **本気で応援**  
あれもこれも全部やる ⇨ × 予算の範囲内  
(ワンストップ、チームアプローチ、アウトリーチ) 3



## 障害者支援

### 障害者が暮らしにくいのは、誰のせい？

…それは、社会が“障壁”を  
つくっているから



▶障害者が暮らしやすい社会を作るのは



**行政（自治体）の責任**

5

## 明石市の「やさしいまちづくり」



6

## まちの様子



筆談ボード



簡易スロープ



点字メニュー

7

## TOPICS



### やさしいまちづくりを推進する “共生社会ホストタウン” 第1号に決定

2020東京オリンピック・パラリンピックを通じた  
住民とパラリンピアンとの交流をきっかけに  
共生社会の実現に向けた意識を醸成する。

羽田空港・筑波技術大に続き、  
自治体では初めて**“手話フォン”**設置



明石駅前再開発ビル  
「あかし市民広場」 8

## 被害者支援・更生支援

### なぜ、地方自治体が？

#### <犯罪被害者支援>

明日被害に遭うかもしれない

「すべての市民」のためのセーフティネット施策

#### <更生支援>

迅速かつ的確に支援につなぎ、再犯防止・犯罪抑制

= 安全・安心のまちづくり

#### ▶地方自治体が行うべき

“あたりまえ”の施策 9

### 犯罪被害者支援：具体的な取り組み

#### 総合支援条例「明石市犯罪被害者等の支援に関する条例」

- ▶ 総合的支援（相談／生活／経済的）
- ▶ 立替支援金制度の創設
- ▶ 二次被害防止を明記

…更なる支援拡充のため、  
2018年4月条例改正

- ▶ 立替支援金の対象拡大
- ▶ 再提訴支援
- ▶ 真相究明支援



